

TRUSCO®

2025年12月期(第63期) 通期 決算説明会

2026年 2月18日(水) 16:00~17:00

トラスコ中山株式会社 証券コード:9830

(「苦は去れ」と覚えてください)

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 高田 真由美(たかた まゆみ)

【本件問い合わせ先】経営企画部 広報IR課 課長 吉見 今日子(よしみ きょうこ) / 忍田 ゆい(おしだ ゆい)

TRUSCO®

TEL: 03-3433-9840 / MAIL: info@trusco.co.jp

アジェンダ

■スケジュール

16:00 本日の決算説明会について

16:05 当社の取組みについて

16:40 決算概要について

16:50 質疑応答

17:00 終了

17:00 懇親会

■決算説明会について

- ・質疑応答は会場参加、オンライン参加の順番にお伺いいたします

- ・ご質問の際は

- ①企業名②お名前③ご質問内容をお話してください

- ・ウェビナーにてご参加の皆様は宜しければ説明会終了後にアンケートのご協力をお願いいたします

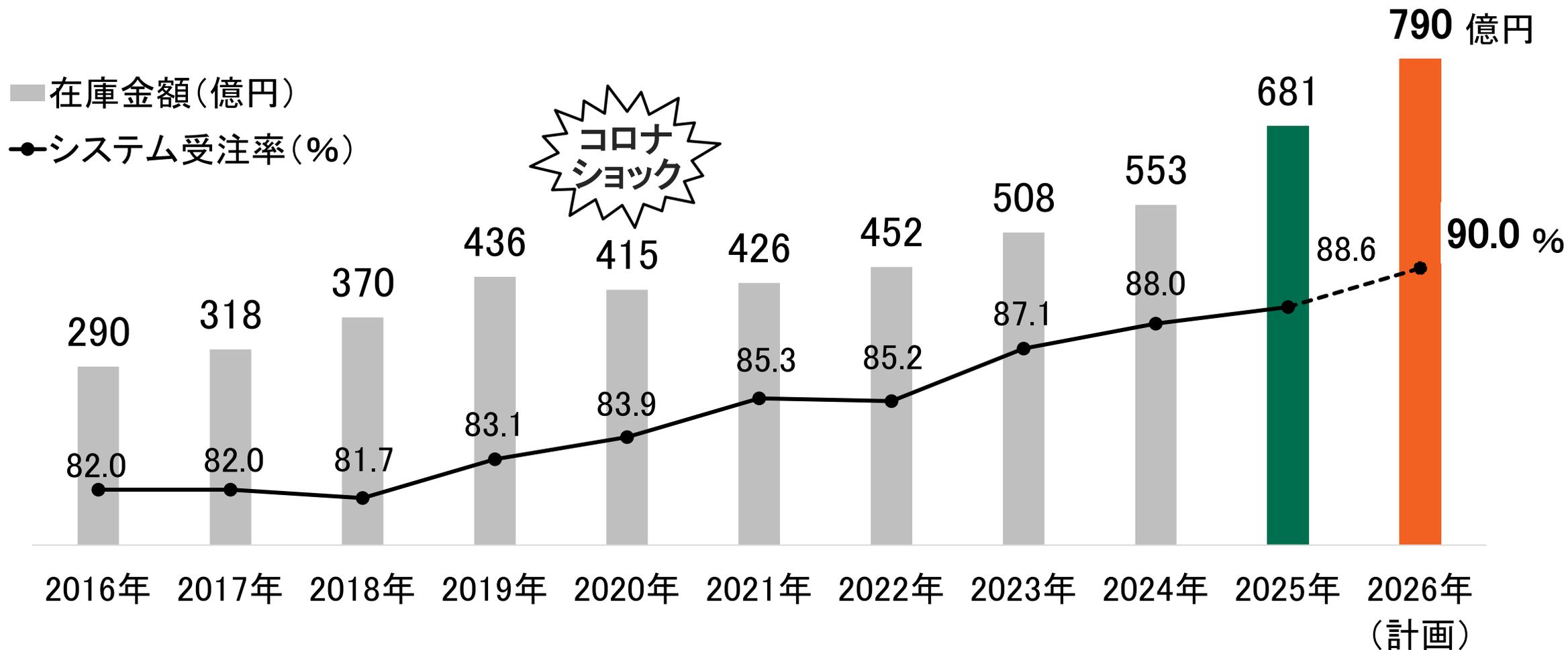
「在庫のおかげで」 ～在庫に関する暗示を解く～

必要最小限、できるだけ少なく・・・

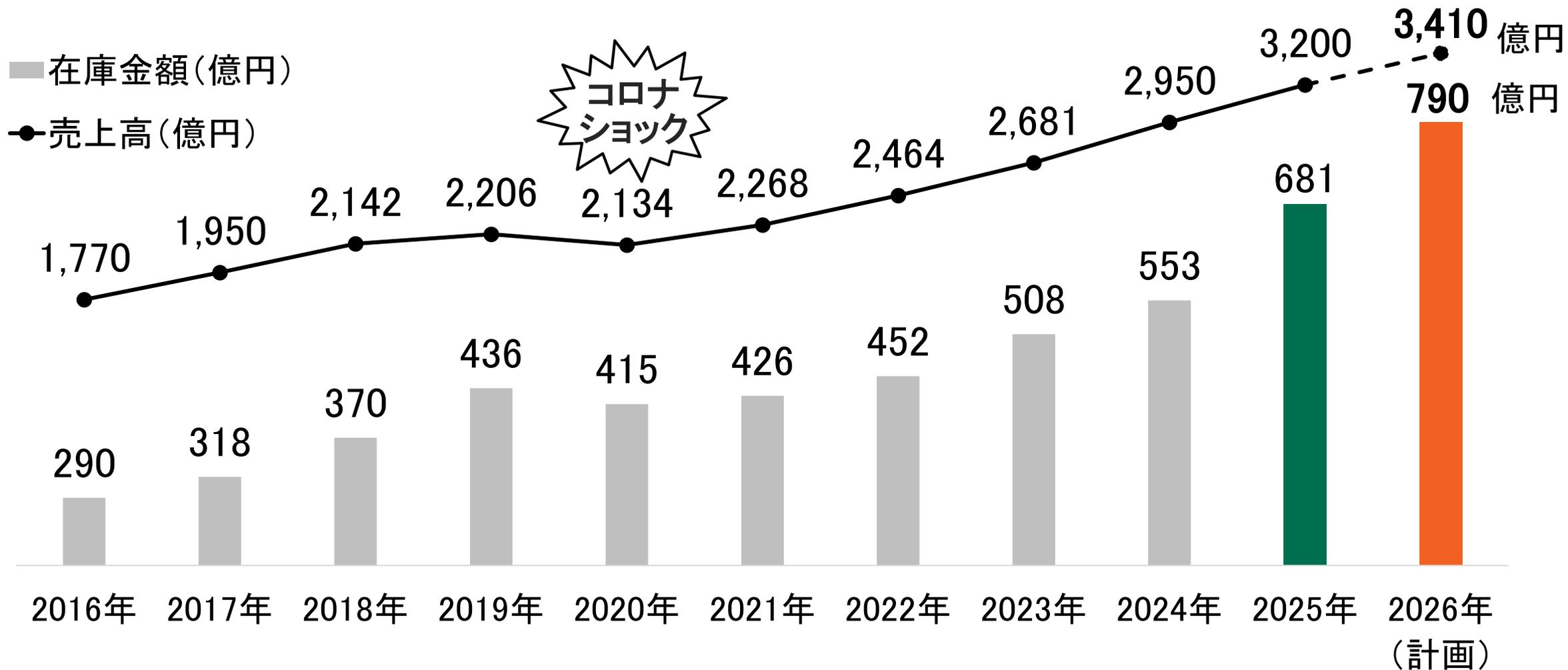
現在、トラスコ中山は
在庫アイテム数 62万アイテム
在庫金額 681億円
を保有し、事業活動を行っています
在庫が持つ圧倒的な優位性について語ります

トラスコ中山株式会社
代表取締役社長
中山 哲也

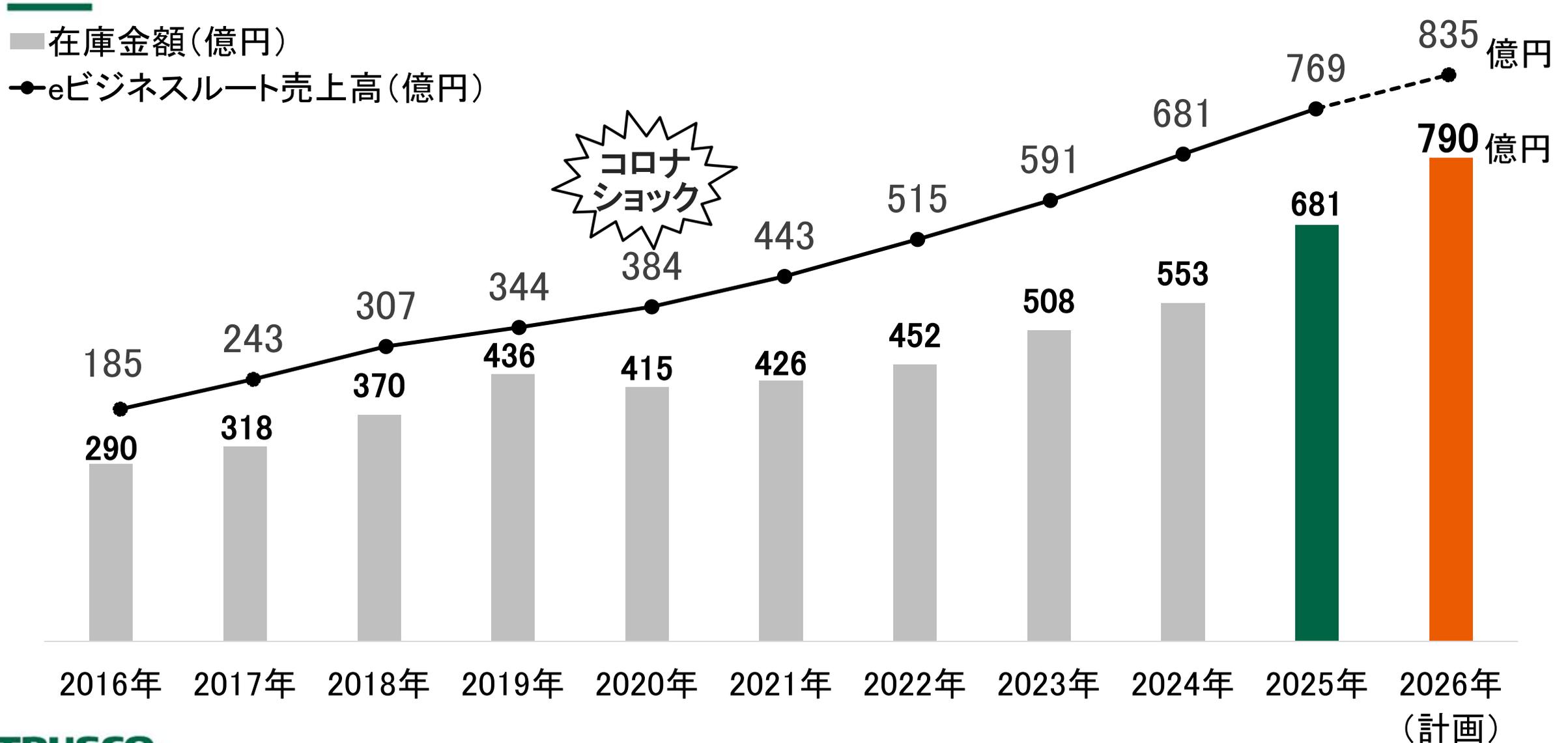
1. 在庫のおかげで、システム受注率が約89%となり、 — 受発注にかかる人的労力が大幅に低減された(人手要らず)



2. 在庫のおかげで、売上が着実に増加し、コロナショック(△3%)も — 大きな影響も受けずに乗り越えた



3. 在庫のおかげで、ネット通販企業様向け売上が大幅に増加した



4-1. 在庫のおかげで、「ニアワセ+ユーチョク」サービスが —— 大幅に増加中

ニアワセ

荷物の詰合わせを
してユーザー様に
直送することにより、
「納期半減」
「配送運賃半減」
「梱包資材半減」
「作業負荷半減」
「環境負荷半減」



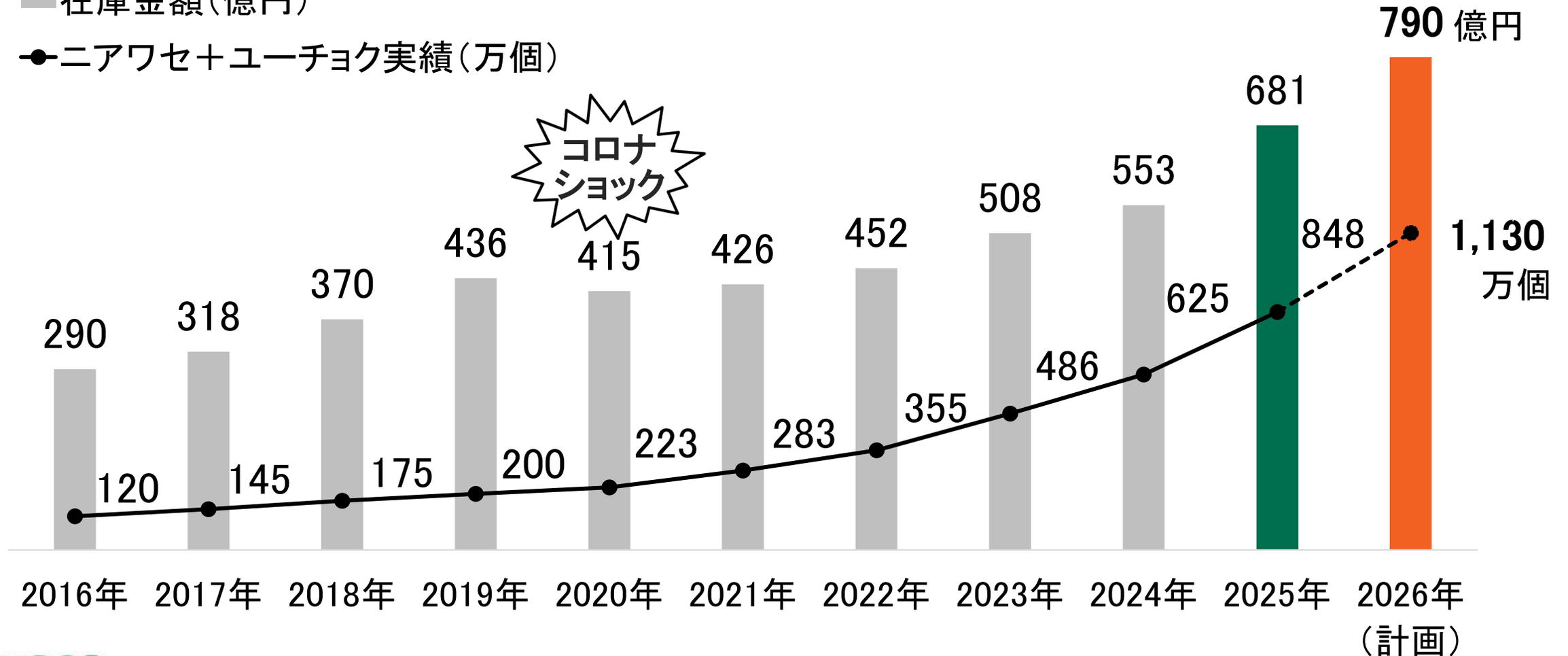
ユーチョク



4-2. 在庫のおかげで、「ニアワセ+ユーチョコ」サービスが —— 大幅に増加中 2025年実績 848万個

■在庫金額(億円)

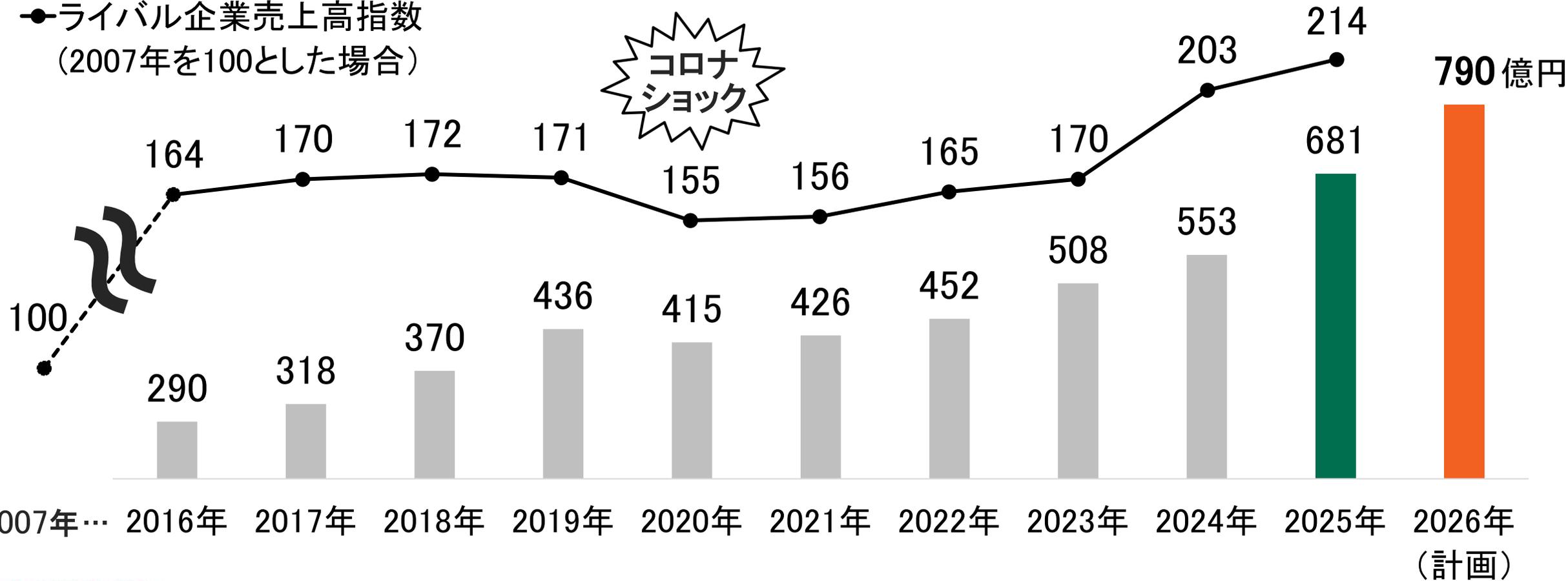
●ニアワセ+ユーチョコ実績(万個)



5. 在庫のおかげで、同業ライバル企業がすべてお客様となった — ある同業ライバル企業への販売実績(かつては売上ゼロであった)

■在庫金額(億円)

●ライバル企業売上高指数
 (2007年を100とした場合)



6. 在庫のおかげで、BCP協定締結に繋がっている

災害時におけるBCP(事業継続計画)対応においても、社会のお役に立てる企業となった



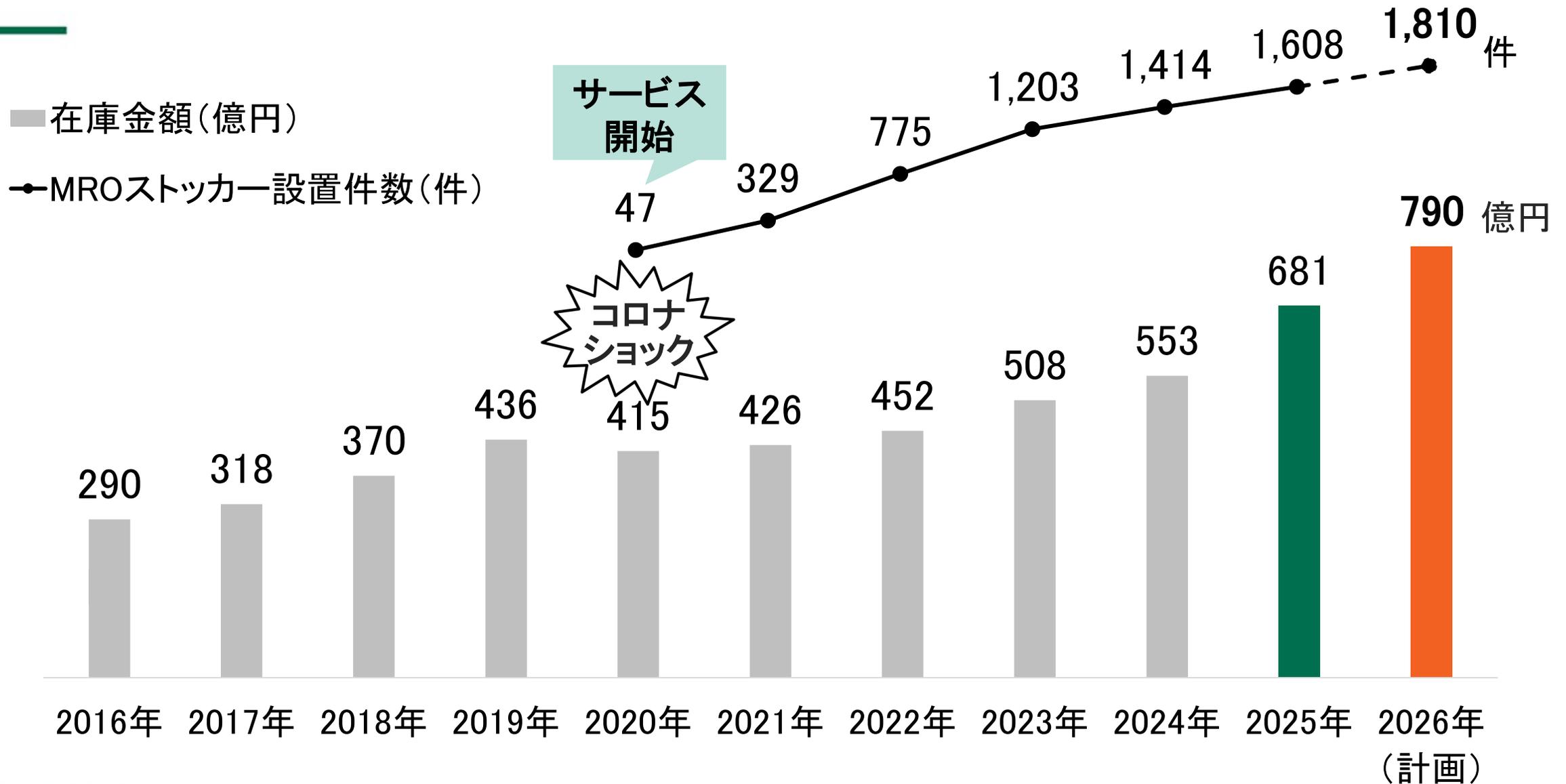
(株)マルニシ 河西社長、トラスコ中山(株) 社長中山、長野県 阿部知事、
岡谷酸素(株) 野口社長、(株)本久 加藤社長



松宮工材(株) 貝森社長、埼玉県 大野知事、トラスコ中山(株) 社長 中山

- ・全国物流センター28ヶ所中(準備中3ヶ所)、
免震装置を備えた物流センターを5拠点(大阪・南関東・埼玉・愛知・新潟)配備
- ・BCP協定締結急増中(自治体、市区町村、大手ユーザー様)
現在、災害復興協定を36の自治体(11都道府県、25市区町村)と締結・合意済

7. 在庫のおかげで、MROストックカー設置件数も着実に増加



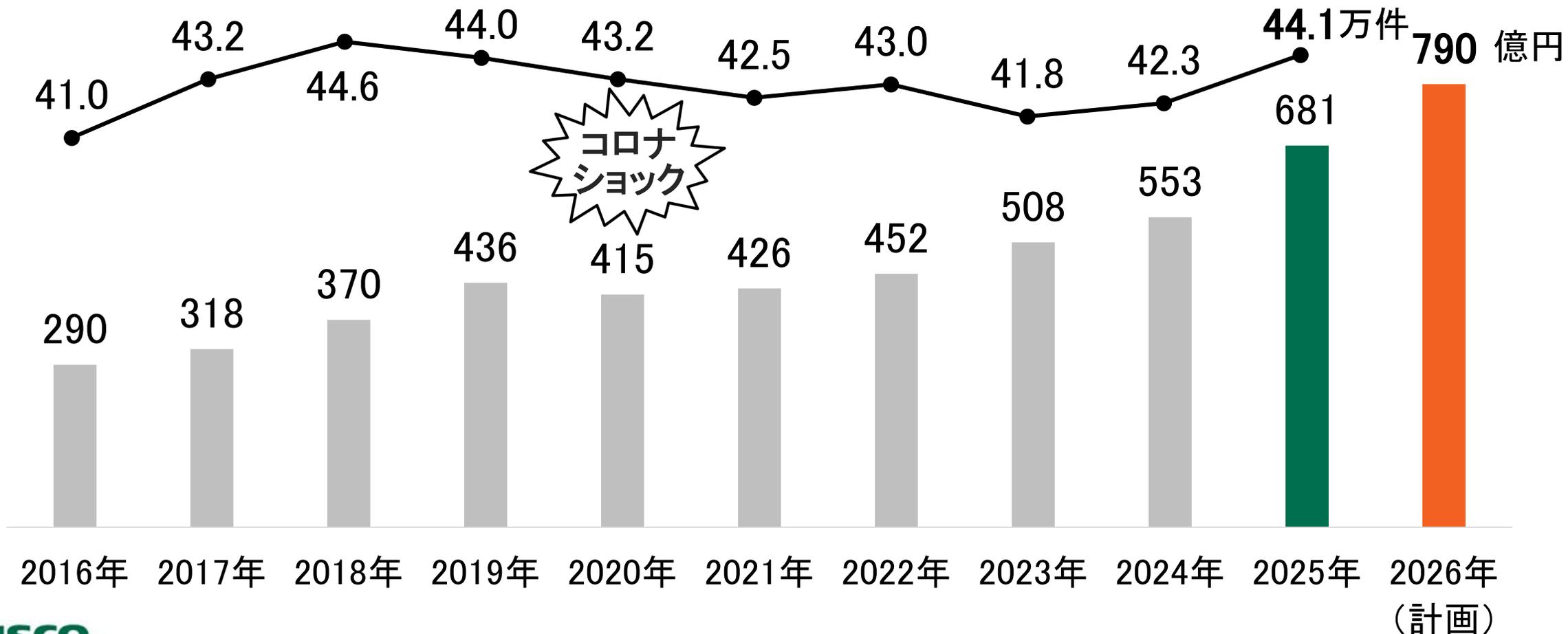
8. 在庫のおかげで、ご来店お引き取りの件数が着実に増加

—「オレンジブック.Com クロス」を開発し、お引き取りの手続きが簡単になった

TRUSCO
オレンジブック.Com CROSS

■在庫金額(億円)

●ご来店件数(万件)



9. 在庫のおかげで、DMG森精機株式会社様が進める —— 「my DMG MORI eMarket」に参画することができた

・DMG森精機株式会社様の子会社である、テクニウム株式会社様が運営する会員制ECサイト「my DMG MORI eMarket」に、当社の豊富な品揃えとスピーディーな「ニアワセ+ユーチョコ」の出荷で貢献

・従来の機械本体の販売にとどまらず、切削工具、測定工具をはじめ、必要とされるMRO商材をも取扱品目に加えるという販売戦略を展開されます

my **DMG MORI**
eMarket



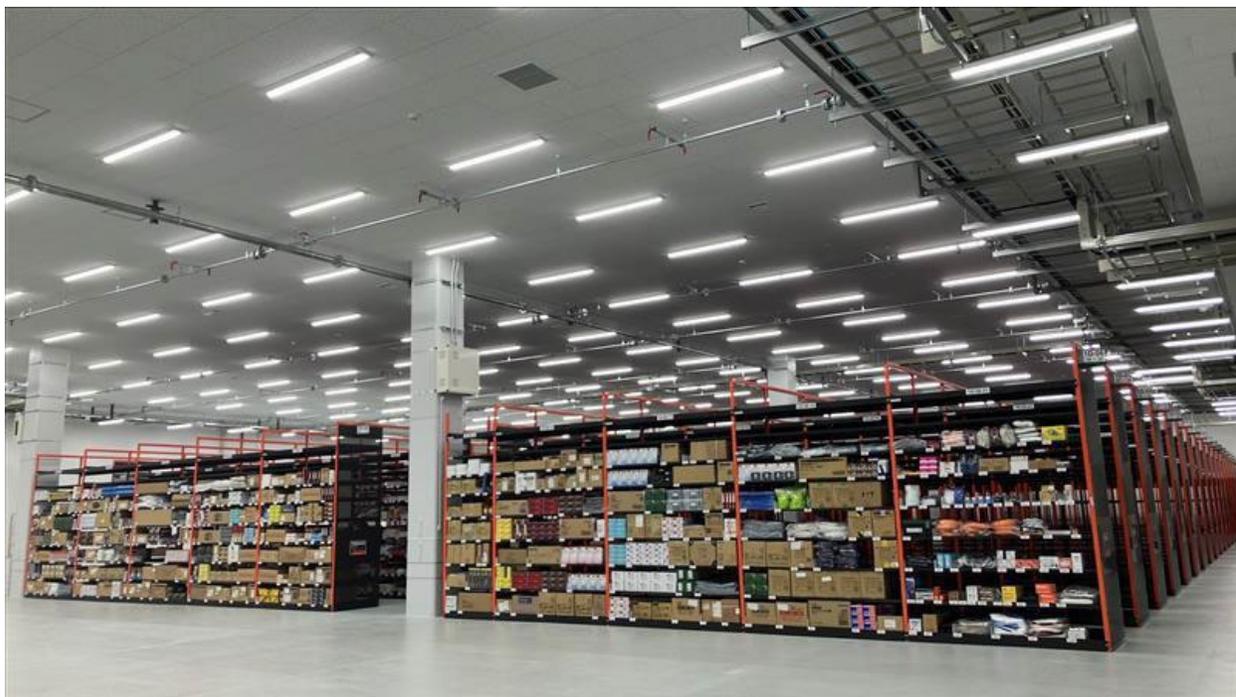
my **DMG MORI** eMarket × **TRUSCO** オレンジブック.Com.

10-1. 在庫のおかげで、SMC株式会社様が進める —— 「SMC遠野サプライヤーパーク」構想に参画することができた

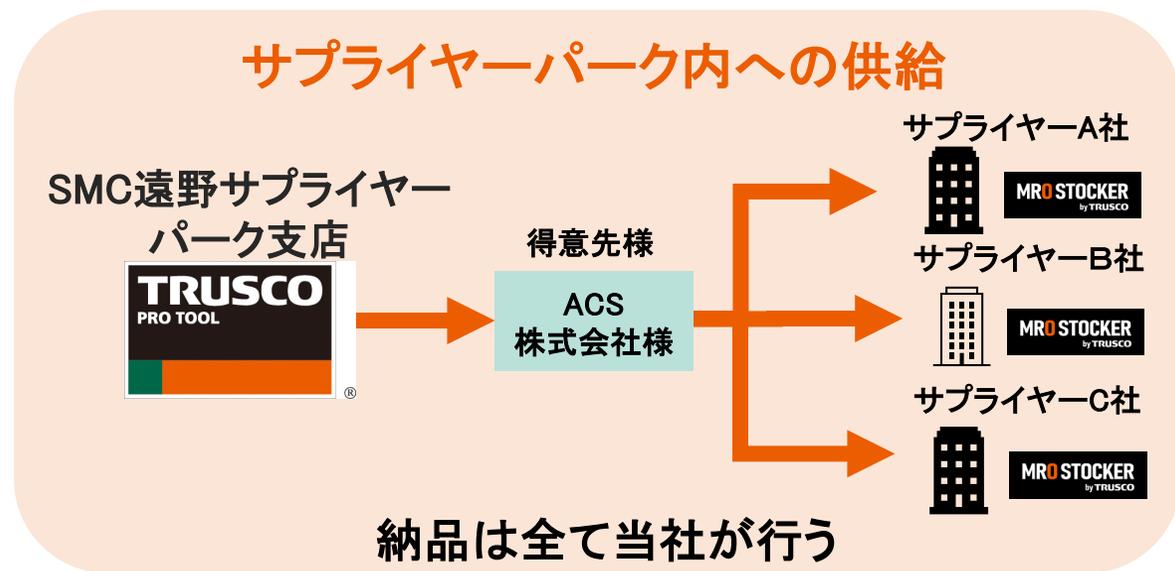


10-2. 在庫のおかげで、SMC株式会社様が進める —— 「SMC遠野サプライヤーパーク」構想に参画することができた

SMC株式会社様は、岩手県遠野市の新工場敷地内に国内部品サプライヤー18社を誘致し、調達から生産までを一貫して行うことが出来る集合拠点「遠野サプライヤーパーク」を開設しました
当社は唯一のプロツール供給企業として、在庫保有支店を出店し、「MRO Stocker」の補充ヤードをユーザー様の拠点内に設けることで、新しい取組みにチャレンジしていきます



支店内に在庫6,000アイテムを保有



11. ホームセンター様がこれから本格化されるネット通販ビジネス —— のパートナーになることができる

- ・当社の保有する約62万アイテムの在庫は、ホームセンター企業様がお持ちでない商品のネット通販ビジネスを支えることができる
- ・ニアワセ+ユーチョコの機能は、ホームセンター企業様の物流が持っていない機能であり、ネット通販ビジネスの取組み拡大に、当社の物流センターの在庫・出荷能力が貢献できる

12. 在庫のおかげで、在庫予約サービス「とって置き」が可能となる ——（今秋サービス開始予定）

- ・お客様がユーザー様との商談のなかで、「この商品は在庫を確保しておいた方が良さそうだな…」とピンときたら、「在庫予約ボタン」を押してもらう
- ・発注ではなく在庫予約なので、キャンセル変更も自由
- ・受注してから発注しては、在庫切れになっているかも知れないので、在庫確保することにより、お客様にもユーザー様にも、喜んでいただけるサービスだと思う
- ・在庫があるからこそ可能となるサービス
- ・ネーミングは、なんと!!「とって置き」(笑)



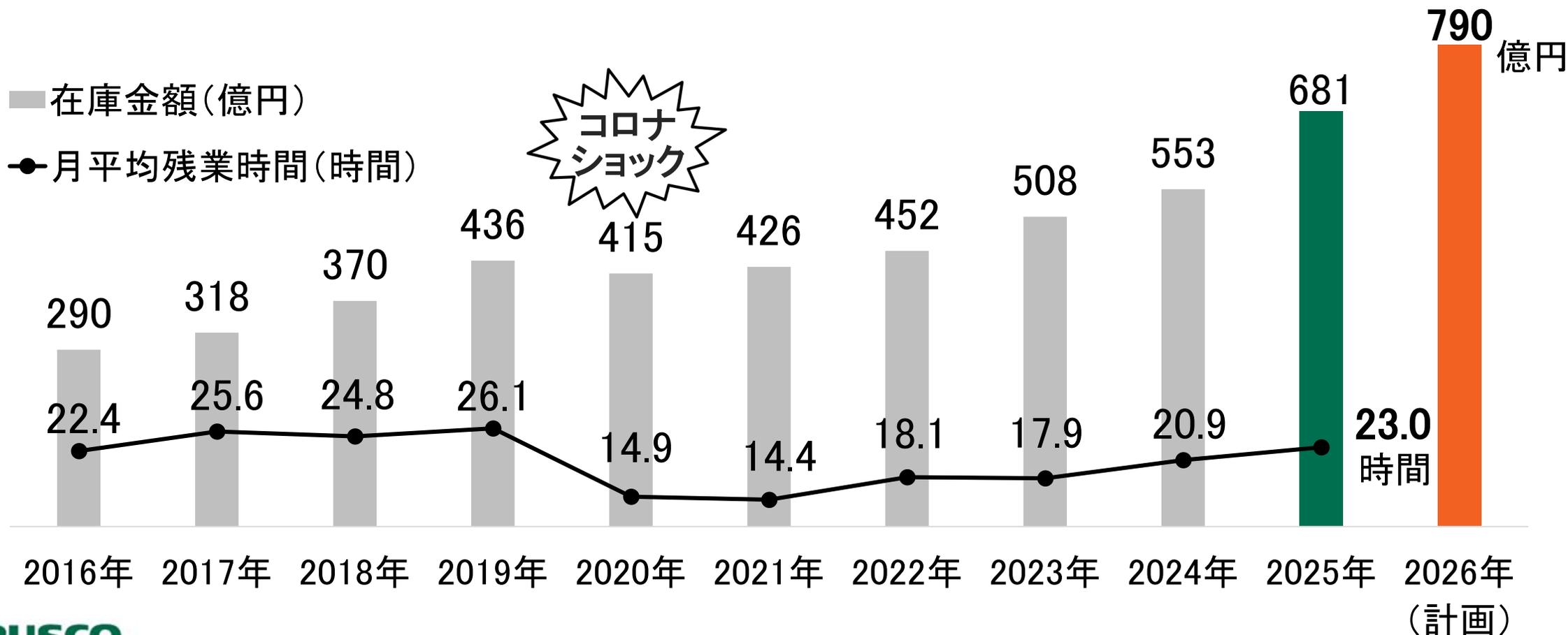
13. 在庫のおかげで、お見積り＋在庫手配連動サービス ——「はやガッテン」が可能となる(今秋サービス開始予定)

- ・お客様からお見積りをいただいたが、在庫のない商品だった場合、事前に在庫を手配し、いつ発注が入っても即座に納品できる態勢を整えておくサービス
- ・万が一発注が入らなくても「早合点したなあ…」で済ませてしまう
- ・12. の在庫予約サービスとも連動し、業界異次元のサービスを提供する(オーバー)

- ・ネーミングは、なんと!!「はやガッテン」(笑)

14. 在庫のおかげで、システム受注が増加し、残業が激減、 — ホワイト企業になれた。かつては、漆黒、暗黒→ブラック →グレー→ホワイト企業

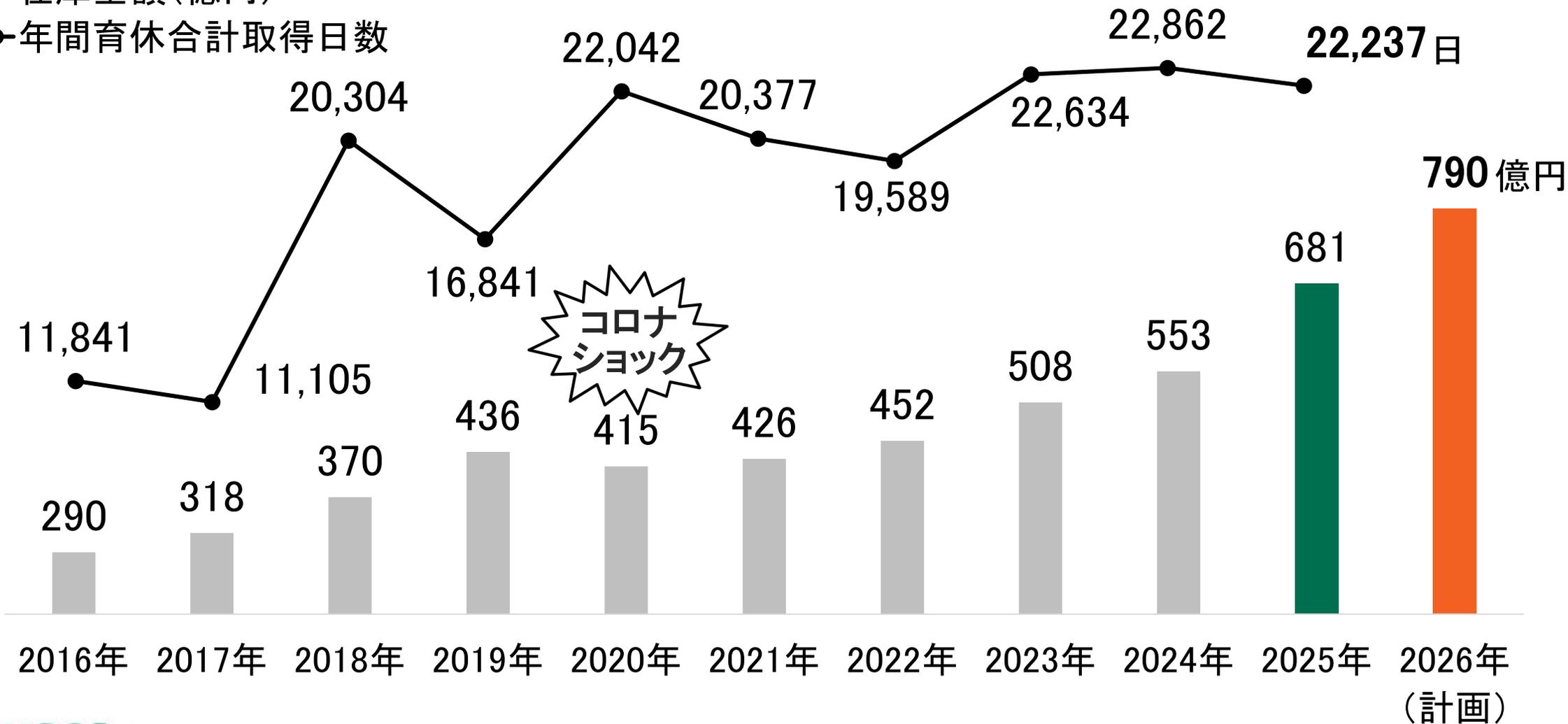
私の入社当時(1981年)は、工具業界のセブンイレブンと呼ばれていた(笑)



15. 在庫のおかげで、育児休業制度3年が可能となった

■ 在庫金額(億円)

● 年間育休合計取得日数



16. 在庫のおかげで、業界平均を上回る成長を持続している

【同業他社決算状況】

単位:百万円、()内pt

社名	2026年 2月17日時点		2025年1月~12月 売上高		2025年1月~12月 経常利益		通期業績予想		コロナ前後における 業績変動指数 (2019年を100とした場合)	
	時価総額	PER	実績	前期比	実績	前期比	売上高	前期比	2020年	2025年
トラスコ中山(株)	156,507	10.8倍	320,043	+8.5%	22,541	+12.4%	341,000	+6.5%	97(△3)	145(+45)
ユアサ商事(株)	134,147	10.6倍	535,341	+0.1%	16,655	+3.1%	550,000	+4.1%	88(△12)	107(+7)
(株)山善	142,482	17.8倍	532,002	+4.0%	12,762	+43.0%	530,000	+2.7%	83(△17)	98(△2)
ユニソルHD(株)	56,056	26.2倍	159,036	△1.7%	4,179	△10.3%	165,000	+3.7%	※1	-
(株)日伝	75,542	15.2倍	137,606	+4.0%	7,072	+6.1%	140,000	+3.9%	82(△18)	108(+8)
杉本商事(株)	32,533	14.1倍	48,574	+0.4%	2,445	△17.1%	51,800	+4.7%	89(△11)	109(+9)
(株)NaITO	7,835	43.5倍	43,334	△0.1%	506	+48.4%	42,600	△2.2%	78(△22)	87(△13)
(株)Cominix ※2	6,992	11.9倍	38,484	+36.4%	687	+5.0%	40,000	+32.8%	82(△18)	118(+18)
(株)トミタ	9,323	17.7倍	21,825	△1.0%	945	△0.6%	22,300	+2.9%	67(△33)	84(△16)

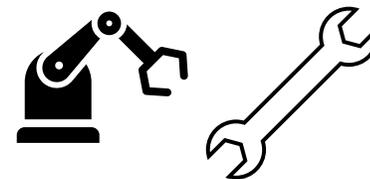
※1 2021年に経営統合しているため、コロナ前後における業績変動指数を「-」としています。
 ※2 2024年12月にKamogawaHD(売上高103億円)を43億2900万円で完全子会社化しております。

当社にて作成



17. 在庫のおかげで

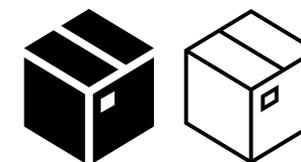
1. 日本のモノづくりへの貢献度が高まった



2. お客様は不要な在庫、倉庫、車両、人員を持たなくてもよくなった



3. お客様はワンストップで必要な商品を即日、短納期で入手できるようになった



4. メーカー様は従来の複雑な流通ルートを集約、合理化できるようになり、かつユーザー様への納期短縮も実現可能となった

これからもTRUSCOは、
教科書にない経営で
歴史にない歴史を刻んで参ります
これからの成長にご期待ください

決算概要について

【連結】経営成績

※1 2025年8月12日発表の修正予算です。

2024年 通期実績				2025年 通期実績			
実績	前年比	構成比		実績	前年比	構成比	予算比※1
2,950億24百万円	+10.0%	100.0%	①売上高	3,200億43百万円	+8.5%	100.0%	△1.5%
616億83百万円	+7.2%	20.9%	②売上総利益	667億31百万円	+8.2%	20.9%	△1.3%
417億4百万円	+6.9%	14.1%	③販売費及び一般管理費	439億14百万円	+5.3%	13.7%	△1.5%
60億44百万円	△2.6%	2.0%	④(うち減価償却費)	55億52百万円	△8.1%	1.7%	△2.3%
199億78百万円	+7.9%	6.8%	⑤営業利益	228億16百万円	+14.2%	7.1%	△0.9%
200億56百万円	+7.4%	6.8%	⑥経常利益	225億41百万円	+12.4%	7.0%	△0.9%
160億95百万円	+31.2%	5.5%	⑦親会社株主に帰属する当期純利益	158億81百万円	※2 △1.3%	5.0%	+2.1%
244円09銭	+58円04銭	-	⑧1株当たり当期純利益	240円84銭	△3円25銭	-	+4円90銭
54円00銭	+7円50銭	-	⑨1株当たり配当金	60円00銭	+6円00銭	-	+1円00銭
504億78百万円	+4.5%	17.1%	⑩PB売上高	519億45百万円	+2.9%	16.3%	△3.8%
261億63百万円	+94.2%	-	⑪設備投資額	200億27百万円	△23.5%	-	-

※2 前年に旧大阪本社売却に伴う特別利益26億67百万円を計上していた影響により減少しています。



決算ダイジェスト

()内前年比

	実績	構成比	
①売上高	3,200億43百万円 (前年比+8.5%)	—	・約62万アイテムの豊富な在庫と、最先端の物流機器、そしてデジタルを組み合わせることによって実現する「ニアワセ+ユーチョク」(荷物詰合わせ+ユーザー様直送)をはじめとする、利便性の高いサービスの利用を促進し売上が拡大
②売上総利益	667億31百万円 (前年比+8.2%)	20.9%	・売上高増加により売上総利益が拡大。価格改定による在庫商品の評価益は、約16億円を計上(第1四半期約6億円/第2四半期約5億円/第3四半期約3億円/第4四半期約2億円)※前期:約14億円
③販売費及び一般管理費	439億14百万円 (前年比+5.3%)	13.7%	増加要因: 給料及び賞与(+10億25百万円)、運賃及び荷造費(+8億25百万円)出荷個数増加に伴う運賃及び荷造梱包費増額等 減少要因: 減価償却費(△4億91百万円) ソフトウェアの償却期間満了による影響等
④経常利益	225億41百万円 (前年比+12.4%)	7.0%	・売上高増加に伴う売上総利益の増加と、売上高の成長に対し、販売費及び一般管理費の増加を抑制できたことにより、前年比+12.4%
⑤親会社株主に帰属する純利益	158億81百万円 (前年比△1.3%)	5.0%	・前年に旧大阪本社売却に伴う特別利益26億67百万円を計上している影響により、前年比△1.3%
⑥1株当たり配当金	60円00銭 (+6円00銭)	—	・1株当たり配当金は前年比+6円00銭

【連結】セグメント別実績

2024年 通期実績				販売ルート	2025年 通期実績				
売上高			売上総利益率		売上高			売上総利益率	
実績	前年比	構成比	実績		実績	前年比	構成比	実績	前年末比
1,969億47百万円	+8.1%	66.8%	20.6%	①ファクトリールート	2,112億23百万円	+7.2%	66.0%	20.6%	±0.0pt
681億59百万円	+15.3%	23.1%	22.7%	②eビジネスルート	769億60百万円	+12.9%	24.0%	22.5%	△0.2pt
268億25百万円	+10.6%	9.1%	17.1%	③ホームセンタールート	283億96百万円	+5.9%	8.9%	16.8%	△0.3pt
30億91百万円	+19.7%	1.0%	35.4%	④海外ルート	34億63百万円	+12.0%	1.1%	35.2%	△0.2pt
2,950億24百万円	+10.0%	100.0%	20.9%	⑤全社合計	3,200億43百万円	+8.5%	100.0%	20.9%	±0.0pt

ファクトリールート……在庫・物流機能の強化、「MROスタッカー」の設置、「ニアワセ+ユーチョク(荷物詰合わせ+ユーザー様直送サービス)」の推進などによりシェアが拡大。取組が拡大する建築関連ルートは売上高457億円(前年比+12.3%)

eビジネスルート……約418万アイテムの商品データベースを整備、納期短縮・精度向上の取組みを進め、「ニアワセ+ユーチョク(荷物詰合わせ+ユーザー様直送サービス)」の利用促進を図ることで売上が拡大。

ホームセンタールート・在庫と物流を活かし、店舗向け、EC事業向け、プロショップ向けそれぞれに積極的な提案活動を行う事で商権を獲得。

海外ルート……現地のニーズに即した新規在庫の投入、新規仕入先様開拓や得意先様との協業により売上が拡大。



【連結】販売費及び一般管理費

実績：439億14百万円（前年比+5.3%、+22億9百万円）

2024年 通期実績		勘定科目	2025年 通期実績		
実績	実績		前年比	前期増減額	
151億11百万円	①	給料及び賞与 (賞与引当金繰入戻入額含む)	160億26百万円	+6.1%	+9億15百万円
90億85百万円	②	運賃及び荷造費	99億10百万円	+9.1%	+8億25百万円
60億44百万円	③	減価償却費	55億52百万円	△8.1%	△4億91百万円
14億47百万円	④	租税公課	17億7百万円	+18.0%	+2億60百万円
100億16百万円	⑤	その他	107億16百万円	+7.0%	+7億00百万円
417億4百万円	⑥	合計	439億14百万円	+5.3%	+22億9百万円

- ・増加要因
 - ①給料及び賞与 +9億15百万円 基本給の改定及び住宅補助手当の増額(+8億96百万円)
 - ②運賃及び荷造費 +8億25百万円 出荷量増加、輸送コストの増加による影響(+6億22百万円)
内、ユーザー様直送増加による影響(+3億60百万円)
※ユーザー様直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいております
 - ④租税公課 +2億60百万円 プラネット愛知建物 見積不動産取得税による影響
- ・減少要因
 - ③減価償却費 △4億91百万円 ソフトウェア償却期間満了(△5億74百万円)

【連結】設備投資実績

実績：200億27百万円

単位：百万円

2025年 主な設備投資 内訳		投資実績	投資実績 合計
土地 建物	①HC東日本物流センター 新築工事(総投資額:172億円)	11,080	土地・建物計 12,576
	②神戸支店 フロア購入(総投資額:4億円)	424	
	③その他	1,072	
デジタル	④基幹システム「Paradise(パラダイス)」基盤刷新(総投資額:22億円)	1,773	デジタル計 3,348
	⑤物流システム「TRULOGIS(トラロジス)」基盤更改	138	
	⑥ユーザー様向けサイト「トラスコ オレンジブック.Com クロス」構築	134	
	⑦その他	1,303	
設備	⑧プラネット愛知 物流機器・設備(総投資額:100億円)	2,701	設備計 4,103
	⑨プラネット九州 物流機器(総投資額:6億円)	475	
	⑩その他	927	
	⑪合計		20,027

<減価償却費に関して>

・2026年のプラネット愛知(総投資額300億円)、HC東日本物流センター(総投資額186億円)稼働後の減価償却費は2027年に約100億円を予定しています。



第64期 通期 経営計画について

新物流センター稼働による出荷能力の拡大や、豊富な在庫と最先端の物流機器を活用した当社独自のサービスを推進し、お客様の利便性向上にお応えすることで、売上高は3,410億円を見込んでいます。売上総利益は、商品の価格改定が落ち着きつつあることから、在庫評価益10億円(前年比△6億円)で計画しています。販売費及び一般管理費は、新物流センター稼働に伴う減価償却費の増加、2025年7月実施のベースアップによる人件費の増加などを見込んでいます。

2025年 12月期			2026年 12月期			
実績	前年比		計画	前年比	前年増減額	構成比
3,200億43百万円	+8.5%	①売上高	3,410億00百万円	+6.5%	+209億56百万円	-
667億31百万円	+8.2%	②売上総利益	718億00百万円	+7.6%	+50億68百万円	21.1%
439億14百万円	+5.3%	③販売費及び一般管理費	500億80百万円	+14.0%	+61億65百万円	14.7%
55億52百万円	△8.1%	④(内、減価償却費)	83億10百万円	+49.7%	+27億57百万円	2.4%
228億16百万円	+14.2%	⑤営業利益	217億20百万円	△4.8%	△10億96百万円	6.4%
225億41百万円	+12.4%	⑥経常利益	212億20百万円	△5.9%	△13億21百万円	6.2%
158億81百万円	△1.3%	⑦親会社株主に帰属する 当期純利益	145億40百万円	△8.4%	△13億41百万円	4.3%
60円00銭	+6円00銭	⑧1株当たり配当金	※ 58円50銭	-	△1円50銭	-

【連結】第64期 販売費及び一般管理費 計画

計画：500億80百万円（前年比+14.0%、+61億65百万円）

2025年 12月期			勘定科目	2026年 12月期		
実績	前年比			計画	前年比	前年増減額
160億26百万円	+6.1%	①	給料及び賞与 (賞与引当金繰入戻入額含む)	173億76百万円	+8.4%	+13億50百万円
99億10百万円	+9.1%	②	運賃及び荷造費	105億15百万円	+6.1%	+6億4百万円
55億52百万円	△8.1%	③	減価償却費	83億10百万円	+49.7%	+27億57百万円
124億23百万円	+8.4%	④	その他	138億76百万円	+11.7%	+14億52百万円
439億14百万円	+5.3%	⑤	合計	500億80百万円	+14.0%	+61億65百万円

①給料及び賞与 +13億50百万円

従業員増加による影響(+5億9百万円)
 月次達成インセンティブの支給(+4億40百万円)
 ベースアップによる影響(+3億90百万円)

②運賃及び荷造費 +6億4百万円

出荷量の増加、輸送コストの増加による影響(+5億17百万円)
 内、ユーザー様直送増加による影響(+2億76百万円)
 ※ユーザー様直送に係る運賃は、お客様にご負担いただいております

③減価償却費 +27億57百万円

プラネット愛知(+10億43百万円)
 パラダイス4基盤刷新(+4億58百万円)
 HC東日本物流センター(+3億20百万円)

④その他 +14億52百万円

HC東日本物流センター引渡に伴う不動産取得税(+2億52百万円)
 デジタル・物流機器 保守点検費(+1億57百万円)

【連結】第64期 設備投資計画

計画：172億87百万円

単位：百万円

2026年 主な設備投資 内訳		投資計画	投資計画 合計
土地 建物	①HC東日本物流センター 新築工事(総投資額:172億円)	3,391	土地・建物計 7,335
	②プラネット長野 新築工事(総投資額:124億円)	2,603	
	③プラネット愛知 寮 新築工事(総投資額:10億円)	387	
	④プラネット埼玉 寮 新築工事 他	954	
デジタル	⑤データ分析基盤構築(総投資額:8億円)	870	デジタル計 3,992
	⑥物流システム「TRULOGIS(トラロジス)」機能強化(総投資額:12億円)	778	
	⑦基幹システム「Paradise(パラダイス)」基盤刷新・機能強化(総投資額:25億円)	954	
	⑧拠点別ネットワーク強化、各種システム強化 他	1,390	
設備	⑨プラネット愛知 物流機器・設備・備品(総投資額:100億円)	3,983	設備計 5,960
	⑩HC東日本物流センター 物流機器・設備(総投資額:14億円)	1,328	
	⑪空調設備更新 他	649	
	⑫合計		17,287

<設備投資額に関して>

・設備投資額は、計画中のものを含むため、変動する場合があります。